

春季全県高校野球

経 法 大 付 属 を 破 る

夏の予選 ニート権獲得

▽ 2 回 戦 ・ 八 橋 球 場

能 代 2 0 0 0 2 0 2 0 3

経 法 大 付 属 0 0 1 0 3 0 0 0 0 4

本校が安田—高橋の投手リレーで
チーム打率4割台の強打経法大付属を
振り切った。

先攻の本校は一回、先頭の大高が
フォアボールで出塁後、高橋の送球バ
ントが内野安打となり、ノーアウト
一、二塁。中川が送り、それぞれ、ラ
ンナーを進めた。ここで四番見玉の
センターへの当たりを相手がエラー。
幸先よく2点を先取した。

本校の先発ピッチャーは右の安田。
三回裏、相手に1点を許したが、本校は
すかさず、五回、フォアボールに相手の
エラーなどで2点を追加した。しかし、
その裏、本校にもエラーが出るなどし
て3点を奪われ同点。試合の流れが変
わるかと思われたが、七回、本校は
敦賀・安田のヒットに高橋のタイムリ
ーで2点をあげ、再びリードした。

七回裏、好投の安田を高橋にスイング。
その高橋も調子はよく二回三分の一を
0点に抑えた。

九回表には、ランナーを一、三塁におい
て、四番見玉が、センター右へのスリー
ランホームランを放ち、ダメ押しをし
た。

本校はこの勝ちで、準決勝へコマを
進めると同時に、夏の甲子園予選のニ
ート権を得た。

先生方も応援に

この試合には、校長先生や教頭先
生、小玉先生、事務職員のか藤さんら
が応援にかけつけた。半田先生も、
八回頃登場。「行けー！ヒットだぞ」
などと大声で声援。球場でひときり目を
(耳を?)引いていた。また、この春、
秋田中央高校に赴任された小助川五
郎先生の姿も見えた。この日生徒の応援
がなかったのが残念に思われる好試合だった。

⑩

尾形徳昭監督にこにこ

メチャクチャうれしい!! 勝ち方が
いい。一番の勝因は安田のカイ投。高
橋も短いイニングだったが、調子もよ
かったしネ。9回のスリーランも効
いた。疲れたけど、本当によかった!!

選手同様、うれしーいぽいの尾形監
督だった。

⑪

監督が選ぶこの試合の

「1-0-1」は、

「みんなが頑張った」のだが、特に
ということ。

安田幸道投手!!

監督「精神的に強くなったネ」

この試合の
メー
ンバ
ー

高田川	玉山	山部	池内	賀田	橋
大橋	中見	大渡	菊長	敦安	高
遊二	一	中	右	左	三
三	捕	投	投	投	投
1	2	3	4	5	6
7	8	9			

我々は旺文社
模試を
がんばる
今日の試合
がんばる

12:30~八橋

準 決 勝 “東北大会”
出場権 “を”かけて
対 秋 田 工 業

(新聞部 荒川・小林)